

日本映画衛星放送株式会社 第25回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成24年1月10日(火)15時~16時30分
2. 開催場所 : 東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー東館15F  
日本映画衛星放送株式会社 ボーディングルーム
3. 委員の出席 : 委員総数 9名 / 出席者委員数 9名  
出席委員(順不同、敬称略): 鳥居美砂・田保橋淳・坂井保之・菊地 実・石上三登志・  
曾根和子・西 正・鈴木嘉一・川本三郎  
(鈴木委員・川本委員は今回より新規参加)
- 放送事業者側出席者氏名 : 代表取締役社長 杉田成道  
常務取締役 酒井 彰  
編成部部長 宮川朋之  
番審担当 堤 靖芳・碓井恭子(記)

4. 議題:(1) 審議事項

日本映画専門チャンネルBS開局に伴う新編成について

(2) 報告事項

- ・時代劇専門チャンネル2012年2月放送オリジナルドラマ  
「鬼平外伝 熊五郎の顔」プロモーション報告、その他

5. 議題(1)の概要

3月1日からBSでも「日本映画専門チャンネル」が見られるようになるが、さらに多くの視聴者にお楽しみいただけるよう改編する。新編成のポイントは四つ。ひとつは映画の魅力を引ききちんと伝えること。新作映画は“テレビ初放送”ではなく、むしろ“丁寧に見せる”ことにこだわりたい。2つ目は、テレビの魅力について。自宅のテレビでゆっくりと映画を見ていただけるような編成、出来る限り枠を固定し視聴習慣にもこだわろうと思う。またテレビの特性を活かし、解説や字幕放送、生放送も積極的に取り組みたい。3つ目は有料専門チャンネルの魅力を探求すること。最後に、“映画を見るなら「日本映画専門チャンネル」と視聴者に思ってもらえるようなブランド作りを目指す。ブランド創出のためには“何をやらないか”にこだわりたい。3月1日の開局から4日間は特別編成を組み、BS255“日本映画ゴーゴー”というキャッチフレーズでBS255チャンネルに合わせると誰でも「BS日本映画専門チャンネル」が見られる無料放送にする。多くの人にチャンネルを、そして日本映画の魅力を知ってもらおうと思っている。

## 7. 審議内容

### < 審審委員意見 >

- ・ B S に出て新たなお客様の目に触れやすくなる。B S の強みを生かしていただきたい。また無料放送の日こそいい作品を編成し、お客様にアピールした方が良い。EPG やスマホタブレットなどの新しいデバイスをプロモーションツールに使用すれば若い人にも映画が広がるのではないかと思う。
- ・ B S に出るのであれば、もう少しターゲットを若く設定し、“新作”映画が売りになってくるのではないか。放送時間を分かりやすく固定化するのは、録画もしやすく賛成である。ケーブルや既存のスカパー！で見ている従来の視聴者もいる中でどう B S 開局を告知していくかが非常に重要だろう。
- ・ C S の自由奔放さがなくなるのはさみしい。そのような作品も夜中に編成するなどして欲しい。B S だからと言ってあまり真面目にならなくてもいいと思う。
- ・ 1970 年代や 80 年代の映画の編成が意外と少ない印象を持つ。『ATG・アーカイヴ』の放送時間や、土曜の夜から日曜の 1 時までの編成はピンとこなかった。字幕放送は是非やっていただきたい。
- ・ 新編成は盛り付け方としてこれで良いと思う。編成には公共性や社会性を持たせることが望ましい。
- ・ 古い日本映画の大ファンなので、素晴らしいラインナップに感嘆している。1930・40 年代の映画は一般的に古い懐かしいといわれるが、見たことがない人も多いはずで、受け取り方によってはある意味新作と言える。今後も充実させて欲しい。
- ・ 『伊丹十三劇場』について、オリジナルのドキュメンタリーを作るのはいいと思う。ただ映画の編成だけでなく、彼の関わった CM やドキュメンタリー番組なども編成し、いろんな表現、手段を取った人としてトータルに捉えていただきたい。

### < 事業者回答 >

- ・ ご指摘通り、今後は新しい邦画ファンの開拓が必要である。C S 放送が 10 年経つと懐かしい番組そのものの供給が減りつつある。そういう意味では昔の青春時代に見た映画が見られるチャンネルというだけではダメだろう。
- ・ わが社ではフィルムで残っている作品をできる限りハイビジョンマスターにし放送している。本来なら文化保存活動の一環として国がやるべきことであるが、予算がとられず、映画会社も自分のところでは実行しないので、我々が放送を前提にフィルムのハイビジョン化を行っている。費用は決して安くはないが、社会性、公共性に少しでも貢献すべくハイビジョン化運動は続けるべきと思っている。

## 8. 議題(2) 報告事項

- ・ 『鬼平外伝 熊五郎の顔』について、昨年 10 月の B S スカパー！先行放送に続き、「時代劇専門チャンネル」にて 2 月 11 日土曜日夜 8 時に本作を放送。その前に『時代劇専門チ

チャンネル ファン感謝祭』を東京・大阪で開催し、上映会を開く。

- ・ R-15 作品の考え方について。我々有料チャンネルとしては R-15 作品の放送は視聴者サービスとしての義務と考えている。しかし現在、お客様に対し無差別に R-15 作品をお見せしていいのかが問題となってきた。本問題に対しペアレンタルロック・システムの導入を現在検討中である。

9 . その他の参考事項：次回の番組審議委員会は 2012 年 3 月 13 日開催。

(以上)